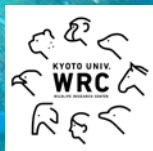


第2回 動物園水族館大学シンポジウム



©(一財)沖縄美ら島財団

©世界淡水魚園水族館アクア・トトギス

保全の彼方と 動物園・水族館の 未来

みんなで
考えよう!

2020年
3/18・19
(水) (木)

会場 キャンパスプラザ京都
(座席数約200席)

詳細はコチラ



入場無料
事前申込
不要

主催 京都大学 野生動物研究センター

共催 京都大学 霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院、JSPS 研究拠点形成事業 大型動物研究を軸とする熱帯生多様性保全の国際拠点、京都市動物園、名古屋市東山動植物園、(公財)横浜市緑の協会 (よこはま動物園 野毛山動物園 金沢動物園)、熊本市動植物園、高知県立のいち動物公園、(公財)日本モンキーセンター、わんぱーくこうちアニマルランド、愛媛県立とべ動物園、広島市安佐動物公園、名古屋港水族館、京都水族館、海きらら・九十九島水族館、神戸市立須磨海浜水族園、海遊館、滋賀県立琵琶湖博物館、いおワールドかごしま水族館、沖縄美ら海水族館、鴨川シーワールド、世界淡水魚園水族館アクア・トトギス

後援 京都府教育委員会、京都市教育委員会、環境省近畿地方環境事務所、(公社)日本動物園水族館協会

第2回動物園水族館大学シンポジウム「保全の彼方と動物園・水族館の未来」

入場無料
事前申込不要

日本が批准する温暖化対策の国際的な枠組み「パリ協定（気候変動抑制に関する多国間国際的協定）」が来年から始まる。森を守ること、海や川を守ることは、気候変動対策の中心的課題であるとともに、そこにくらす多様な生物を守ることに直結している。その生物には人間も含まれる。森が消えれば、水が枯れば、そこに生活する人間の生活が脅かされ、やがては地域固有の伝統文化や風習、言語までもが失われる。気候変動と聞いてもピンとこないかもしれないが、なにごと身近な一歩からはじまる。近年、動物園や水族館の存在が国際的に問題視されている。その原因はいろいろある。飼育環境を巡る動物倫理的な問題、収益活動を優先し野生動物を消費している問題、野生動物の保全に貢献していないとする問題等々。今回のシンポジウムでは動物園と水族館の扱うテーマは異なる。初日は動物園の「域外保全」について議論を行う。域外保全とは、本来の生息地とは異なる場所で野生動物を保全する活動である。それを達成するためには、私たちひとりひとりが身近な動物園のために何ができるかを考えるべきだろう。二日目は水族館のあるべき姿や動物倫理に焦点を当てる。近年、鯨類を飼育する大型水族館のアミューズメントパーク化が著しい。数十年先の水族館の未来を考えたとき、この方向性で問題はないのだろうか？今回は、日本の動物園・水族館の未来形について、2日間かけてじっくり議論する。動物園・水族館の現場の声を中心に関連する専門家の意見を聞くとともに、フロアの参加者にも活発な議論をお願いしたい。

3/18(水)

プログラム

3/19(木)

9:30	開場
10:00	開演 開会あいさつ 村山美穂(京都大学) 趣旨説明 伊谷原一(京都大学)
10:10	域外保全の基本方針
	「動物園・水族館といっしょに 国内の希少な野生動物をまもる！」 綿貫宏史朗(環境省 自然環境局 野生生物課 希少種保全推進室)
10:55	「地域動物園連携と動物維持に向けた展望」 伊谷原一(京都大学)
11:40	質疑応答
昼食休憩(12:15~13:00)	
13:00	事例の紹介 チンパンジー飼育者座談会 「チンパンジーの”子々孫々”は難しい」 久川智恵美(わんぱーくこうちアニマルランド) 奥村 文彦(日本モンキーセンター) 板東はるな(京都市動物園)
休憩(14:30~14:45)	
14:45	「京都市動物園のゴリラたちの未来」 田中正之(京都市動物園)
15:30	「動物園・水族館で動物たちが 命をつないでいくには」 木下こづえ(京都大学)
16:15	総合討論 I
18:00	閉会

9:00	開場
9:30	開演 あいさつ 幸島司郎(京都大学)
9:45	「水族館の抱える諸問題の整理と未来」 亀崎直樹(岡山理科大学)
10:15	「神戸市立須磨海浜水族園の歴史とこれから」 大鹿達弥(神戸市立須磨海浜水族園)
10:45	「鳥羽水族館の歴史と理念」 若林郁夫(鳥羽水族館)
11:15	「海きららの取組み」 川久保晶博(海きらら)
11:45	「琵琶湖博物館が考える水族館としての社会的役割」 金尾滋史(滋賀県立琵琶湖博物館)
昼食休憩(12:15~13:00)	
13:00	「沖縄美ら海水族館が考える水族館の未来」 河津 勲(沖縄美ら島財団)
13:30	「“フィールドミュージアム構想”から考える 未来の動物園・水族館」 幸島司郎(京都大学)
14:00	「動物倫理から考える動物園・水族館の未来」 伊勢田哲治(京都大学)
14:30	「一般人は水族館に何を期待するのか(1)」 廣井裕子(岡山理科大学)
15:00	「一般人は水族館に何を期待するのか(2)」 萬井智恵子(須磨海浜水族園ボランティア)
休憩(15:30~15:45)	
15:45	総合討論 II
17:00	閉場



会場でめいぐるみ、フィギュアを集めます!

「次の人がそのまま使える」「自分が使う・遊ぶに不自由しない」ものをお持ちください。

めいぐるみ	キャラもの・動物・キーホルダー・商品など	【回収できないもの】
フィギュア	キャラもの・シルバニア、リカちゃん人形 フィギュアつきペットボトルキャップ、メルちゃん	・自立つぼみ、汚れ、ほこりの多いもの ・破損、欠品
プラモデル	車・ガンダム・戦艦など ※組み立て前も可。組み立て後のものは破損しないように、梱包してください。	・日本人形のがガラスケース ・電池は取り除いて下さい。 ・木製品(積み木等)
プラおもちゃ	幼児用のおもちゃ・LEGOブロック ミニ四駆(パーツ・コース含む) プラレール、鉄道Nゲージ(レール含む)	・大きなサイズのもの(3辺の合計が100cm以上) ・枕やクッション

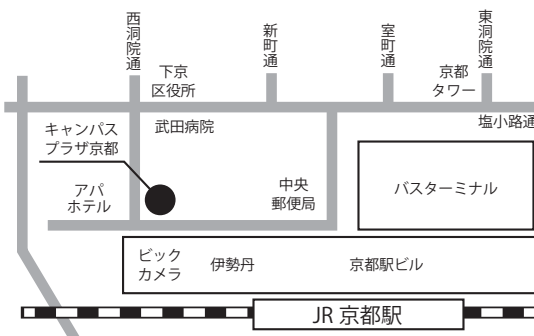
会場アクセス

キャンパスプラザ京都

第2講義室(4階)

京都駅から徒歩1分

〒600-8216
京都府京都市下京区
西洞院通塩小路下る
東塩小路町939



お問い合わせ 京都大学野生動物研究センター

E-mail zoouniversity@kyoto-u.ac.jp
<https://www.wrc.kyoto-u.ac.jp/zu/>